

第II回県民公開医療シンポジウム

知って得する 肝臓病の話

平成29年 9/30 (土) 14:00 ~ 16:00



のがみプレジデントホテル

〒820-0004

福岡県飯塚市新立岩12番37号 (TEL.0948-22-3840)

ACCESS

【電車でお越しの場合】

JR福北ゆたか線 新飯塚駅下車 徒歩5分

【お車でお越しの場合】

福岡ICより約40分 / 若宮ICより約30分

福岡空港より約50分 / 小倉駅より約60分

※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

主催：公益社団法人福岡県病院協会

後援：福岡県、飯塚市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県助産師会、(一社)飯塚医師会、(一社)田川医師会、(一社)直方鞍手医師会、(一社)飯塚歯科医師会、(一社)飯塚薬剤師会、福岡県病院薬剤師会、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、日本経済新聞社西部支社、NHK福岡放送局、福岡放送、RKB毎日放送、テレビ西日本、九州朝日放送、TVQ九州放送(順不同)

公益社団法人を(公社)、一般社団法人を(一社)と省略させていただきました。

連絡先 公益社団法人福岡県病院協会

TEL:092-436-2312 FAX:092-436-2313

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号

福岡県メディカルセンタービル 2階

(公社)福岡県病院協会とは…

昭和25年に設立され、「病院の経営管理の向上を図り、地域医療の普及向上と、県民の健康増進に寄与すること」を目的に、各種教育研修会などを実施しています。会員は、県下の4大学病院など、公私の250病院が加入しています。

入場
無料
定員:400名

プログラム

1.開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長
九州大学病院 病院長

石橋 達朗

2.シンポジウム

座長

福岡市民病院 診療統括部長

飯塚病院 院長

小柳 年正

増本 陽秀

講演
1

「B型肝炎との上手なつきあい方」

国立病院機構小倉医療センター
肝臓病センター部長

佐藤 丈顕 先生

講演
2

「楽しく治すC型肝炎」

国立病院機構九州医療センター
肝臓センター部長

中牟田 誠 先生

講演
3

「本当はこわい脂肪肝」

九州大学大学院医学研究院
病態制御内科学准教授

加藤 正樹 先生

講演
4

「切らずに治す肝臓治療」

飯塚病院
肝臓内科部長

本村 健太 先生

3.質疑応答

4.閉会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 副会長
地方独立行政法人福岡市立病院機構 理事長
福岡市民病院 院長

竹中 賢治

目 次

【開会のことば】 14:00～14:05

ご挨拶	1
公益社団法人福岡県病院協会 会長	
九州大学病院 病院長	石橋 達朗

開催にあたって 2

第11回県民公開医療シンポジウム 運営委員長	
飯塚病院 院長	増本 陽秀

【シンポジウム】 14:05～15:30

座 長	福岡市立病院機構福岡市民病院 診療統括部長	小柳 年正
	飯塚病院 院長	増本 陽秀

講演1	「B型肝炎との上手なつきあい方」	3 ～ 4
	国立病院機構小倉医療センター	
	肝臓病センター部長	佐藤 丈顕 先生

講演2	「楽して治すC型肝炎」	5 ～ 7
	国立病院機構九州医療センター	
	肝臓病センター部長	中牟田 誠 先生

講演3	「本当はこわい脂肪肝」	8 ～ 9
	九州大学大学院医学研究院	
	病態制御内科学准教授	加藤 正樹 先生

講演4	「切らずに治す肝臓治療」	10 ～ 11
	飯塚病院	
	肝臓内科部長	本村 健太 先生

【質疑応答】 15:40～16:00 12

閉会のことば	
公益社団法人福岡県病院協会 副会長	
地方独立行政法人福岡市立病院機構 理事長	
福岡市民病院 院長	竹中 賢治

ご 挨拶

公益社団法人 福岡県病院協会

会長 石 橋 達 朗

(九州大学病院 病院長)



本日は、土曜の午後にもかかわらず、「第 11 回県民公開医療シンポジウム」にお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。

福岡県病院協会は、地域医療の普及向上と県民の皆様の健康増進に寄与するために、1950 年（昭和 25 年）に設立され、2013 年（平成 25 年）4 月から公益社団法人として活動しております。

当協会は、公益目的事業の一環として「県民公開医療シンポジウム」を 2007 年（平成 19 年）から、毎年県内各地で開催しており、本年で 11 回目の開催となります。福岡県は全国的に見て肝臓癌が多いという事実がありますので、今回はテーマを「知って得する肝臓病の話」として開催致します。最初に、国立病院機構小倉医療センターの佐藤丈顕先生からは「B 型肝炎との上手なつきあい方」と題して、慢性化するとなかなか体内から消えてなくなる B 型肝炎ウイルスをどのようにコントロールするかについて話して頂きます。また、国立病院機構九州医療センターの中牟田誠先生からは「楽して治す C 型肝炎」と題して、最近の薬剤を用いた C 型肝炎の治療法について話して頂きます。さらに、九州大学病院の加藤正樹先生からは「本当はこわい脂肪肝」と題して、放置していると重い病気になりかねない脂肪肝という病気について話して頂き、最後に、飯塚病院の本村健太先生からは「切らずに治す肝臓がん」と題して、外科的切除による方法以外のがんの治療法に関する、最新のお話をして頂く予定です。

どのお話も、肝臓病に関する最新の知見に基づく、興味深いお話しになるものと期待しております。講演終了後には、皆様方からのご意見や質問をお受けして先生方がお答えする「質疑応答」の場も設けております。これを機に、皆様の健康についてのご理解が深まれば、幸いに存じます。

福岡県病院協会は、県民の皆様に医療や医療制度を正しくご理解頂けるよう、活動を続けて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

開催にあたって

第11回県民公開医療シンポジウム運営委員長

飯塚病院院長 増 本 陽 秀



本日は、第11回県民公開医療シンポジウムにご参加いただきありがとうございます。
厚生労働省の発表による2015年度版人口動態統計では、肝臓病は日本人の死因の第7位となっています。福岡県は肝臓病による死亡者数の特に多い地域であり、過去10年以上にわたり、全国都道府県の上位10位以内にランクされています。そのような中、今回は『知って得する肝臓病の話』をテーマとして、御高名な4名の先生方にわかりやすくお話しいただきます。

まず国立病院機構小倉医療センターの佐藤先生からは、「B型肝炎との上手なつきあい方」についてご講演いただきます。B型肝炎は内服治療薬でウイルス量を減らし、肝炎の進行を防いで肝臓がんの発症を抑えることができるようになりました。B型肝炎と上手につきあうためには…。

国立病院機構九州医療センターの中牟田先生からは、「楽して治すC型肝炎」についてご講演いただきます。C型肝炎の治療には、インターフェロンという副作用の強い注射薬が使われていましたが、最近では副作用がほとんどなく、C型肝炎ウイルスに直接作用して治してしまう画期的な内服治療薬が登場し、90%以上の方が治癒するようになりました。C型肝炎を楽して治すには…。

九州大学病院の加藤先生からは、「本当は怖い脂肪肝」についてご講演いただきます。従来、脂肪肝は怖くない病気とされてきましたが、実は進行して肝硬変になり、肝臓がんを発症することが最近問題となっています。生活習慣病としての脂肪肝の本当の怖さとは…。

飯塚病院の本村先生には、「切らずに治す肝臓がん」についてご講演いただきます。肝臓がんの治療はめざましく進歩し、開腹手術をせずに治療できるようになりました。どうやって切らずに治すのか…。近未来の世界のような目を見張る治療法を、豊富な経験をもとにご解説いただけたと思います。

これら肝臓病のトピックスを20分程度に凝縮して、各先生方からわかりやすくご講演いただきます。中身の濃い専門的な話が、皆さんの脳に自然に染みこむように理解される、そんな講演をご期待ください。ご質問を受け付けますので、疑問に思われたことはご遠慮なくおたずね下さい。

ご来場の皆さんの眠けが吹き飛び、知って得した、来てよかった、とご満足いただけるシンポジウムとなることを期待して、ご挨拶とさせていただきます。

知って得する肝臓病の話

座 長

福岡市立病院機構福岡市民病院 診療統括部長 小柳 年正

飯塚病院 院長 増本 陽秀

講演 1

B型肝炎との上手なつきあい方

国立病院機構 小倉医療センター
肝臓病センター部長

佐藤 丈顕 先生



ウイルスの持続感染によって、慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌へ進展していく肝臓の病気に、B型肝炎とC型肝炎があります。両者は、血液を介して感染するなど似たところもありますが、構造は全く別のウイルスです。そして、C型肝炎は少しずつ確実に病気が進むのに対して、B型肝炎は人によって、または時期によって病気の進行が大きく異なる傾向にあります。

このちょっと気まぐれなB型肝炎との上手なつきあい方をお話します。

B型肝炎は幼少期にウイルスに感染した場合に持続感染者となると考えられています。そして、成人後に慢性肝炎を発症し、多くは一定期間の慢性肝炎の後に鎮静化しますが、その慢性肝炎の程度と期間は大きな個人差があります。人によっては、慢性肝炎が激しくまたは長く続いて、肝硬変、肝臓癌に進展していきませんが、人によっては、軽い慢性肝炎が短期間で終わります。慢性肝炎の時期を本人が気づいていないこともあります。その場合は肝臓の状態が非常に良い場合と、逆にすでに肝硬変や肝臓癌へ進行している場合とがあります。なかには、慢性肝炎を発症せずに一生を終える人もいます。B型肝炎と上手につきあうには自分がどのような状態にあるかの把握がとても大切です。

B型肝炎の抗ウイルス療法はとても進歩しました。現在、B型肝炎治療に頻用されているのは核酸アナログ製剤と呼ばれる経口の抗ウイルス剤ですが、ウイルスの増殖を押さえ肝炎を鎮静化させて肝硬変への進展を防ぐことができます。初期の薬剤は高率に耐性（途中で薬剤が効かなくなること）が出現することが欠点でしたが、最近の薬剤は耐性出現率も低くなっています。しかし、ウイルスを完全に排除できるわけではないので、薬剤を中止するとしばしば肝炎の再燃が見られ、長期に服用しなければならないという問題点が残っています。

略 歴

昭和63年 九州大学医学部卒業

第三内科（現 病態制御内科学）入局

平成8年 国立小倉病院（現 国立病院機構小倉医療センター）

平成20年 国立病院機構小倉医療センター 肝臓病センター部長 現在に至る

楽しく治すC型肝炎

国立病院機構 九州医療センター
肝臓センター部長

中牟田 誠 先生



この3年間ほどでC型肝炎治療は劇的に変わり、まさにC型肝炎撲滅の時代となりました。しかも、今日のタイトルの「楽しく治すC型肝炎」のように、ほとんど副作用なく短期間でC型肝炎が治る時代となりました。

C型肝炎ウイルスは1989年に発見されましたが、それまではA型肝炎でもないB型肝炎でもない非A非B肝炎と呼ばれていました。原因がわかりましたので、それに対抗する手段として、1992年からインターフェロン治療（注射）がはじまりました。皆さんが風邪をひかれた時に高熱、倦怠感や食欲不振などの症状がでますが、これは風邪ウイルス（インフルエンザなど）をやっつけるために、自分自身が作ったインターフェロンが起こす副作用です。これを注射（週3回）で人為的に投与するために注射のたびに熱などが出て苦しい思いをすることになります。しかも頑張って半年耐えても治る方（著効）は5%程度でした。2004年から週1回でよいペグインターフェロンとリバビリンという抗ウイルス効果を高める薬を併用しても、それでも1年で40%の著効でした。しかもリバビリンによる貧血という副作用が加わりました。この時代が長く続きましたが、2011年にこれらに加えて、直接ウイルスをやっつけるお薬（抗ウイルス剤）が登場しました。おかげで、著効率は飛躍的に上昇して24週の治療で70%台に上昇しました。ただし、インターフェロンとリバビリンを使用しますので副作用は同等であり、70歳以上の方には難しい治療法でした。

大きく変化したのが、インターフェロンを使用せずに経口の抗ウイルス剤を複数組み合わせる治療する方法が2016年9月に登場したことです。24週の注射なしの飲み薬だけで90%程度の方が著効となるようになりました。インターフェロンのような副作用がないので、70歳以上の方でも治療が十分可能となりました、さらにいくつかの薬が登場し、治療期間が24週から12週に短縮され、しかも著効率もさらにアップして95%程度になりました。ほとんどの方が著効となる時代になったわけです。では、これらの治療でも著効とならない方は、どのような方かといいますと、お薬が効きに

くいタイプのウイルス（耐性株）を持っている方と肝臓の病気が進行した肝硬変の方です。これらの方では残念ながら現在の治療でも著効率は 90%程度になってしまいます。しかしながら、ご安心下さい。本年の末に、さらに進化した抗ウイルス剤が登場する予定で、8週間（肝硬変の場合には 12 週間）の治療で非常に特殊な症例を除いてほぼ 100%著効という夢のようなお薬です。本当に C 型肝炎全例治癒、C 型肝炎撲滅となります。C 型肝炎の場合は、ウイルスが体のどこかに潜んでいて、治療後何年もしてまた血液中に出てくることはなく、完全に体から除かれます。

このように C 型肝炎ウイルスを除くことが可能になりましたが、ウイルスがいなくなっても注意しておく点があります。それは、肝臓の発生です。C 型肝炎ウイルスがいなくなったのにどうして？と思われることと思います。ウイルスがいなくなっても、長年ウイルスがいたために肝臓は大なり小なり痛んでしまっています。これはすぐには戻らず、場合によっては残念ながら古傷として残ってしまいます。現在、日本人の 2 人に 1 人は癌で命を落とすと言われていています。年齢そのものがいろいろな癌のリスクとなります（生き物の宿命と言えます）。そこに弱いところ、例えばタバコを吸う方が肺癌になりやすいように、C 型肝炎の古傷があると、どうしても他の方よりは肝臓のリスクが増えてしまいます。傷みが少ない慢性肝炎で著効となった場合で、60 才以上の方の年間の肝臓発生頻度は 0.8%です。5 年で 100 人中 4 人の方に肝臓ができてしまうのですが、どのような方にしやすいのかと言えば、お酒をよく飲む方、脂肪肝（肥満や糖尿病）の方などで、ウイルスがいなくなっても肝機能が正常化しない方です。傷みが大きい肝硬変の方の場合は、著効後でも残念ながら年間 4 %で肝臓ができてしまいます。ウイルスがいる場合には年間 8 %ですので、リスクは半分には低下するのですが、十分な注意が必要です。ですから、C 型肝炎が治ったあとも 4～6 ヶ月ごとの定期チェックが必要です。万が一、肝臓ができてもしっかりとチェックしておけば、早期発見になり完治することが可能です。さらに、ウイルスが排除されており、肝臓の状態が以前より良くなっていますので、十分な治療が受けられます。ですから、ウイルスをまずいなくすることが非常に大切です。事実、日本では C 型肝炎による肝臓の発生は 2010 年ころより急激に減少しています。これはインターフェロンを含めて、長年の抗ウイルス療法の成果の表れだと思います。

日本には 100 万～150 万の C 型肝炎の方がいると推測されています。その 3 分の 1 が実際に医療機関にかかってある方、3 分の 1 が C 型肝炎であることはわかっているものの医療機関にかかってない方、残り 3 分の 1 が C 型肝炎にかかっていることを知らない方、と言われていています。医療機関にかかってある方は、すでに治療を受けられた方も多いでしょうし、さらに現在の新しいお薬で治って行かれる方も多いと思います。問題は、残りの 3 分の 2 の方々です。自覚症状がないから、医療機関に行かない、検査を受けない、ということだと思います。たしかに「肝臓は沈黙の臓器」と言われてきましたが、これは嘘です。言葉は悪いのですが、「カエルの生ゆで」状態です。いつ

もグツグツ煮られているのでわからないですが、いざお薬でC型肝炎が消えてしまい、釜の外に出ると、何て自分は暑い湯の中にいたかが分かります。ですから、皆さん治療を始めて1ヶ月もしてくると、「調子がいい」「疲れにくくなった」「ご飯が美味しい」と言われます。C型肝炎では、1日に1兆個のウイルスが肝臓で作られます。ウイルスの粒子は肝臓で作った蛋白や脂質を横取りして作られています。泥棒がいなくなり、本来必要な自分のために使われるので、体調がよくなるわけです。ですから、C型肝炎と分かってある方はすぐに医療機関に行かれてください。また、一度もC型肝炎検査を受けられていない方は、ぜひ検査を受けられてください。保健所や指定医療機関で無料で受けることができます。

さあ、長い間我々を苦しめてきたC型肝炎もいよいよ日本、そして世界から消えて行く日も間近です。

略 歴

1984年 九州大学医学部卒業
1990年 九州大学大学院修了、医学博士取得
1993年 米国ペーラー医科大学研究員
1996年 九州大学医学部助手
2001年 九州大学医学部講師
2006年 国立病院機構九州医療センター消化器内科医長・科長
2010年 同上 肝臓センター部長

日本肝臓学会 専門医・指導医、評議員
日本消化器病学会 専門医・指導医・評議員
日本内科学会 専門医・指導医

本当はこわい脂肪肝

九州大学大学院 医学研究院
病態制御内科学 准教授
加藤 正樹 先生



健康診断の採血や腹部超音波検査で、脂肪肝ではないかと指摘されたことがある方はとても多いのではないのでしょうか。近年、肥満者数の増大に伴って、脂肪肝と診断される人の割合は増加傾向にあり、健診を受診された人の約2～3割が脂肪肝と診断されています。従来、脂肪肝はあまり病的意義のある状態とは認識されていませんでしたが、実は将来的に肝硬変や肝がんを発症するリスクと関係していることが明らかになっています。

脂肪肝はアルコールの過剰摂取によるものと、肥満や糖尿病などの代謝障害によるものとに大別されます。お酒を飲みすぎると肝臓の働きが次第に悪くなり、最終的には命にかかわることもあることはご存じのことと思います。休肝日を設けている方も少なくないでしょう。一方、肥満による脂肪肝はあまり心配されていないのではないのでしょうか。飲酒量が少ないにもかかわらず生じた脂肪肝を、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD：nonalcoholic fatty liver disease）と呼び、肥満や生活習慣病を合併していることが多いです。NAFLDと診断された大半の人は、血液検査では肝機能障害を指摘されますが、肝臓の働き自体は大きく損なわれることはなく、軽症のままで推移します。しかし、NAFLDの約1割の人では、肝臓の働きが進行性に低下していく非アルコール性脂肪肝炎（NASH：nonalcoholic steatohepatitis）と呼ばれる状態であることがわかってきました。NASHが進行すると、最終的には肝硬変にいたり肝不全という致死的な状態に陥ったり、肝がんの発症にいたりすることがあります。実際最近では、肝がんを発症した患者さんに占めるNASHの割合が非常に増大しています。

今回の講演では、脂肪肝についてどのように考えたらよいのか、どういったことに注意したらよいのか、ということについてお話したいと考えています。

略 歴

平成2年3月 九州大学医学部卒業、第三内科（現 病態制御内科学）に入局
平成8年4月 九州大学医学部附属病院 医員
平成10年9月 米国ペイラー医科大学に留学
平成14年4月 福岡市民病院 消化器肝臓内科
平成19年6月 九州大学病院 肝臓膵臓胆道内科 助教
平成29年4月 同上 講師
平成29年8月 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 准教授

切らずに治す肝臓治療

飯塚病院
肝臓内科部長

本村 健太 先生



肝臓がんには、肝臓自体から発生する（原発性といいます）肝細胞癌、胆管細胞癌という2種類の癌があります。肝臓がんの9割以上は肝細胞癌であり、通常肝臓がんという場合は肝細胞癌のことを言います。肝細胞癌の特徴を強いて挙げると、①病気がある傷んだ肝臓に発生する、②再発する確率が非常に高い、という2点になります。普段の検査や、診断されてからの治療法を選ぶ際に、常にこの2点を念頭においておく必要があります。

通常、癌の3大治療法と言うと切除、抗癌剤治療、放射線治療のことですが、肝細胞癌はやや特殊で、現時点での肝細胞癌の3大治療法は切除、焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法であり、抗癌剤治療と放射線治療は、やや補助的な治療といった位置づけになっています。

今回の主題は「切らずに治す」なので詳しくは触れませんが、現在の外科での手術は、開腹手術から腹腔鏡手術へという大きな流れの中にあり、肝臓領域でも同様に、かなりの手術が腹腔鏡で行われるようになってきました。術創の長さには大きな差があり、そのまま体の負担の軽減につながっています。

内科に入院する患者さんに行われる主な治療法は焼灼療法と肝動脈化学塞栓療法です。焼灼療法は、通常は腫瘍径3cm以下・3個以内という比較的早期の癌が適応になる治療法です。エコーで肝臓を見ながら、先端が電極になっている特殊な針を腫瘍に刺し、電極からの電磁波で周囲に熱を発生して腫瘍を焼灼する治療です。切除と同様に根治的治療として位置づけられています。

また、足の付け根から動脈に細い管（カテーテル）を挿入して肝臓の動脈まで進めていき、血管造影検査を行いながら肝臓内の腫瘍の部分のみに抗癌剤を流し込み、動脈に栓をする肝動脈化学塞栓療法は、比較的早期の癌では焼灼療法との組み合わせもよく行われますが、切除や焼灼が不可能になった進行した癌に対しても効果的な治療です。

この治療では、従来からの、油性造影剤＋抗癌剤の肝動注とゼラチンのスポンジで動脈に栓をする方法に加えて、合成樹脂で作られた微小な球状塞栓物質（ビーズ）が使用できるようになりました。それぞれに一長一短があることがわかってきており、状況に応じて使い分けられるようになってきています。

これら以外でも、全身化学療法（抗癌剤治療）、放射線治療にも大きな進歩が見られており、これらの話題も含めて肝臓治療の現状をみなさんにわかりやすくご紹介したいと思います。

略 歴

平成3年3月 九州大学医学部卒業

平成3年6月 門司労災病院 内科（1年次研修）

平成4年6月 九州大学付属病院 第3内科（2年次研修）

平成5年4月 国立療養所福岡東病院 内科（レジデント）

平成6年6月 九州大学付属病院 第3内科（研究生、大学院生、医員）

※上記在籍中H9年5月－H11年3月は米国南カリフォルニア大学消化器内科に留学

平成11年5月 飯塚病院 肝臓内科

資 格

日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、指導医

日本肝臓学会肝臓専門医、指導医

日本消化器病学会消化器病専門医、指導医

地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 竹中賢治



〒八一二一〇〇四六
福岡市博多区吉塚本町13番1号
電話 (〇九二) 一六三二 一一一一
FAX (〇九二) 一六三二 一〇〇〇
E-mail shiminyoin@fcho.jp
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp/>

九州大学病院

病院長 石橋達朗

〒八一二一八五八二
福岡市東区馬出3丁目1番1号
電話 (〇九二) 一六四一 一一五一(代表)
FAX (〇九二) 一六四二 一五〇〇八
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>

地域医療支援病院

ih 飯塚病院

innovate and evolve

院長 増本 陽秀

〒820-8505 飯塚市芳雄町3番83号

TEL 0948-22-3800

FAX 0948-29-5744

<http://aih-net.com>

医療法人 原三信病院

理事長・院長 平 祐二

〒八一二一〇〇三三
福岡市博多区大博町1番8号
電話 (〇九二) 二九一 一三四三四
FAX (〇九二) 二九一 一三四二四
URL <http://www.harasanshin.or.jp/>

医療法人 敬天会

武田病院

理事長・院長 武田 卓

〒八二一・〇一〇四

福岡市城南区別府4丁目5番8号

電話 (〇九二)・八二二・五七一

FAX (〇九二)・八二二・五七一四

E-mail keiten.hospital@herb.ocn.ne.jp

URL <http://keitenkai.sakura.ne.jp/>

国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

病院長 渋谷 恒文

〒八〇三・一八五〇五

北九州市小倉北区金田1丁目3番1号

電話 (〇九三)・一五七一・一〇三一

FAX (〇九三)・一五九一・〇五五三

E-mail ktr-shinkokura@shin-kokura.gr.jp

URL <http://www.shin-kokura.gr.jp/>



特定医療法人 八木厚生会

八木病院

理事長 八木 博司
院長代行 三谷 昌光

〒八二一・〇〇五四

福岡市東区馬出2丁目21番25号

電話 (〇九二)・六五一・〇〇二三

FAX (〇九二)・六三一・一九一九

URL <http://www.yagi.or.jp/>



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険直方病院

院長 坂本 茂

〒八二二・〇〇二四

福岡県直方市須崎町1番1号

電話 (〇九四九)・一二二・一二二五

FAX (〇九四九)・一二四・一二〇二

E-mail main@nogata-hp.jp

URL <http://www.nogata-hp.jp>





一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険田川病院

病院長 **田中裕穂**

地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院

〒八二六-〇〇二二三
福岡県田川市上本町10番18号
電話 (〇九四七) 四四一〇四六〇
FAX (〇九四七) 四五一六五四〇
E-mail syomuka@tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp
URL <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>

社会医療法人 天神会

KOGA

古賀病院グループ

■ **新古賀病院** 久留米市天神町 120
0942-38-2222

■ **古賀病院 21** 久留米市宮ノ陣 3-3-8
0942-38-3333

■ **新古賀クリニック** 久留米市天神町 106-1
0942-35-2485

■ **野伏間クリニック** 久留米市野伏間 1-9-3
0942-26-0066

■ **辺春診療所** 八女市立花町上辺春1080
0943-36-0010

■ **高齢者総合福祉施設
こがケアアベニュー** 久留米市宮ノ陣 4-30-10
0942-38-2525

■ **介護老人保健施設こが 21** 久留米市宮ノ陣 3-3-9
0942-38-3386

天神会 久留米

検索



医療法人

救急病院 開放型病院 臨床研修病院 指定
西福岡病院

日本医療機能評価機構認定病院

理事長 **安藤文英**
院長 **中垣充**

〒八一九-八五五五
福岡市西区生の松原3丁目18番8号
電話 (〇九二) 八八一-一三三三
FAX (〇九二) 八八一-一三三三
E-mail jim@nishifukuoka.or.jp
URL <http://www.nishifukuoka.or.jp>

介護老人保健施設 西寿 ☎092-892-3060
居宅介護支援事業所 ケアプランサービス ☎092-881-1561
訪問看護ステーション ふよう ☎092-881-1299
ヘルパーステーション生きがい ☎092-881-1578



社会医療法人
製鉄記念八幡病院

理事長・病院長 **土橋 卓也**

〒805-8508 北九州市八幡東区春の町一丁目1番1号

TEL 093-672-3176

FAX 093-671-9605

koho@ns.yawata-mhp.or.jp
<http://www.ns.yawata-mhp.or.jp>



公立学校共済組合

九州中央病院

病院長 飯田 三雄

〒八二五-八五八八

福岡市南区塩原三丁目23番1号

電話 (〇九二) 一五四一-四九三六

FAX (〇九二) 一五四一-四五四〇

URL <http://kyushu-ctr-hsp.com/>

医療法人社団 江頭会 さくら病院

理事長・院長 江頭 啓介

〒八二四-〇一四三

福岡市城南区南片江6丁目2番32号

電話 (〇九二) 一八六四-一二一二

FAX (〇九二) 一八六五-四五七〇

E-mail info@sakurahp.or.jp

URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



社会福祉法人 恩賜 済生会 済生会福岡総合病院

地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院・救命救急センター

院長 松浦 弘

〒八二〇-〇〇〇一

福岡市中央区天神1丁目3番46号

電話 (〇九二) 一七七一-八一五一

FAX (〇九二) 一七一六-〇一八五

E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp/>

医療法人博愛会 京都病院

院長 岡松 秀一

〒八二四-〇八一

福岡県京都郡みやこ町勝山箕田298番地

電話 (〇九三〇) 一三二一-二七一

FAX (〇九三〇) 一三二一-二八四八

URL <http://www.miyako-hp.or.jp/>

一般財団法人 医療・介護・教育研究財団

柳川病院

院長 於保和彦



〒八三二ー〇〇七七

福岡県柳川市筑紫町29番地

電話 (〇九四四)ー七二ー六一七一

FAX (〇九四四)ー七二ー二〇九二

URL <http://www.yanagawa-hsp.jp/>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市立こども病院

院長 原 寿郎

〒八一三ー〇〇一七

福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

電話 (〇九二)ー六八二ー七〇〇〇

FAX (〇九二)ー六八二ー七三〇〇

URL <http://www.fcho.jp/childhp/>

原土井病院

院長 小柳左門



〒八一三ー八五八八

福岡市東区青葉6丁目40ー8

電話 (〇九二)ー六九一ー三八八一

FAX (〇九二)ー六九一ー一〇五九

E-mail info@haradoi-hospital.com

URL <https://www.haradoi-hospital.com>

国家公務員共済組合連合会

浜の町病院

院長 一宮 仁



〒八一〇ー八五三九

福岡市中央区長浜3丁目3番1号

電話 (〇九二)ー七二一ー〇八三一

FAX (〇九二)ー七二四ー三二六二

E-mail info@hamanomachi.jp

URL <http://www.hamanomachi.jp>

早良病院

院長 梅野守男

〒八一九一〇〇〇二

福岡市西区姪の浜2丁目2番50号

電話 (〇九二)一八八一―〇五三六

FAX (〇九二)一八八三―八七六一

URL <http://www.sawara-hp.jp/>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会
済生会飯塚嘉穂病院

院長 迫 康 博

〒八二〇一〇〇七六

福岡県飯塚市太郎丸二六五

電話 (〇九四八)一二二―三七四〇

FAX (〇九四八)一二九―一九八七

URL <http://iizuka-kaiko.jp/>

福岡赤十字病院

院長 寺坂禮治

〒八一五一八五五五

福岡市南区大楠3丁目1番1号

電話 (〇九二)一五二一―一二二一

FAX (〇九二)一五二二―三〇六六

URL <http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



医療法人社団 水光会
宗像水光会総合病院

理事長 津留英智
院長 田山慶一郎

〒八一一一三二九八

福岡県福津市日蒔野5丁目7番地の1

電話 (〇九四〇)一三四―三一一一

FAX (〇九四〇)一四三―五九八一

E-mail hsp@suikokai.or.jp

URL <http://www.suikokai.or.jp>

福岡県災害拠点病院

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

在宅医療ネットワーク

独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター

院長 **江崎 卓弘**

〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1丁目1番地1号

TEL 092-943-2331

FAX 092-943-8775

H P <http://www.fe-med.jp>

E-mail shomu@fukuokae2.hosp.go.jp

精神科・神経精神科・老年精神科・心療内科・
内科・歯科・歯科口腔外科

医療法人済世会
河野病院

院長 **今 泉 暢登志**

〒811-1241-3

福岡県糟屋郡篠栗町尾仲139

電話 (092) 947-0611

FAX (092) 947-8598

E-mail info@kawano-hp.com

URL <http://www.kawano-hp.com>

関連施設：河野名島病院 河野粕屋病院

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険仲原病院

病院長 **岡 嶋 泰一郎**

〒811-1233

福岡県糟屋郡志免町別府北2丁目12番1号

電話 (092) 621-2802

FAX (092) 621-2247

E-mail nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

URL <http://nakabaru-hp.jp/>



独立行政法人 国立病院機構

小倉医療センター

院長 **澄 井 俊彦**

〒802-1853

北九州市小倉南区春ヶ丘10番1号

電話 (093) 921-8881

FAX (093) 921-5072

URL <http://www.kokura-hp.jp/>



日本郵政株式会社 福岡逓信病院

院長 津田 泰夫

〒八二〇一八七九八
福岡市中央区薬院二丁目6番11号
電話 (〇九二)一七四一・一〇三〇〇
FAX (〇九二)一七八一・二五六三
URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

医療法人ユーアイ

西野病院

院長 西野 豊彦

〒八二〇一〇二〇六
福岡県嘉麻市鴨生532番地
電話 (〇九四八)一四二一・一一一四
FAX (〇九四八)一四二一・四七九〇

聖マリア病院

理事長 井手 義雄

病院長 島 弘志

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地
電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

聖マリアヘルスケアセンター

理事長 井手 義雄

病院長 井手 睦

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

 社会医療法人 雪の聖母会

公益社団法人

福岡県病院協会

会長 石橋 達朗

〒八二一〇〇一六
福岡市博多区博多駅南二丁目9番30号
電話 (〇九二)一四三六・二三一二
FAX (〇九二)一四三六・二三一三
URL <http://www.f-kenbyou.jp>



公益社団法人
福岡県病院協会